

第35回 ベルリン国際映画祭 国際評論家連盟賞受賞
 第26回 ブルーリボン賞 最優秀作品賞
 第12回 日本映画ペンクラブ賞 日本映画第1位
 第38回 毎日映画コンクール 日本映画優秀作品賞
 1985年 ロンドン国際映画祭 招待作品 作品賞
 1985年 シドニー国際映画祭 招待作品 作品賞
 1985年 モントリオール映画祭 招待作品 批評家協会賞

君は知っているか
 敗戦の虚脱と混乱を、そして平和到来の歓喜を
 昭和から平成を超え、令和に問いかけてくる、
 何を裁き、何が裁かれなかったのかを
 願いを込めて再び劇場公開

監督 小林正樹 音楽 武満徹 ナレーター 佐藤慶

東京裁判

4K デジタルリマスター版

総プロデューサー：足澤慎吉、須藤 博 エグゼクティブプロデューサー：杉山捷三(講談社)
 プロデューサー：荒木正也(博報堂)、安武 龍
 原案：稲垣 俊 脚本：小林正樹、小笠原 清(CINEA-1)
 編集：浦岡敬一(CINEA-1) 編集助手：津本悦子、吉岡 聡、佐藤廣雄
 録音：西崎英雄(CINEA-1) 録音助手：浦田和治 音響効果：本間 明 効果助手：安藤邦男
 資料撮影：奥村祐治(CINEA-1) 撮影助手：北村徳男、瓜生敏彦 エグ編集：南とめ
 タイム美術：日映美術 現像：東洋現像所 録音：アオイスタジオ 協力：博報堂
 史実考査：一橋大学教授 細谷子博(現代史)、神戸大学教授 安藤仁介(国際法) 翻訳監修：山崎剛太郎
 監督補佐：小笠原 清 助監督：戸井田克彦 製作進行：光森忠晴
 ナレーター：佐藤 慶 音楽：武満 徹 指揮：田中信昭 演奏：東京コンサーツ
 監督：小林正樹

デジタルリマスター監修：小笠原 清、杉山捷三
 企画・製作・提供：講談社 配給：大塚 協力：芸遊会
 ©講談社 2018 1983 | 日本 | モノクロ | DCP | 5.0ch | 277分 |

INTERNATIONAL MILITARY TRIBUNAL FOR THE FAR EAST

誰が、この戦争を引き起こしたのか

『人間の条件』『切腹』の巨匠 小林正樹監督が

自らの戦争体験をもとに鎮魂の祈りを込めて綴った

日本映画史上に残るドキュメンタリーの傑作、至高の4時間37分が鮮やかに蘇る

昭和から平成そして令和 新たな時代の幕開けに、現代の日本と世界が浮かびあがる
1945年8月に降伏した日本の戦後の運命を決定づけた極東国際軍事裁判の全貌を描く
アメリカ国防総省が撮影していた50万フィートに及ぶ膨大な裁判記録のフィルムをもとに、『壁あつき部屋』(56)や
『人間の条件』シリーズ(59～61)などで戦争の非を訴えた、反骨の名匠・小林正樹監督が5年の歳月をかけて編集、
制作した。客観的視点と多角的分析を施しながら「時代の証言者」としての“映画”を完成させたのである。83年に公
開され、単に裁判の記録といった域を越え、日本の軍国主義の歩みと激動の世界情勢を照らし合わせながら、戦後
38年当時の日本人に人類がもたらす最大の愚行「戦争」の本質を巧みに訴え得た本作は、第35回ベルリン国際映画
祭国際批評家連盟賞をはじめ国の内外で絶賛された。

巨匠、小林正樹が遺したかった戦後日本への重い問いかけ
8月15日 昭和天皇の玉音放送詔書全文を完全字幕化

故小林正樹監督に代わり、脚本・監督補の小笠原清とエグゼクティブプロデューサー杉山捷三の全面協力のもとで
完成した4Kフィルムスキャン&2K修復デジタルリマスター版。音響もブラッシュアップされ、特に昭和天皇の玉音放
送のシーンでは詔書全文の完全字幕化も実現。鮮明な画像と音響がもたらすリアルな臨場感とともに甦った本作は、
再び「戦争と平和」なる言葉の重みとともに、昭和から平成そして令和へと時代が移り変わっても戦争がもたらした負
の遺産を改めて観る者に問いかける。

いま歴史の瞬間に立ち会う
誰もが法廷に立ち会っているかのような生々しい臨場感と緊迫感

1945年日本はポツダム宣言を受諾し、8月15日に全面降伏の旨を国民に伝えた。戦後の日本を統治する連合国軍
最高司令官マッカーサー元帥は、戦争犯罪人の裁判を早急に開始するよう望み、1946年1月22日に極東国際軍事
裁判所条例を発布した。通称“東京裁判”である。

満州事変に始まり、日中戦争の本格化や太平洋戦争に及ぶ17年8カ月の間、日本を支配した指導者の中から、太平
洋戦争開戦時の首相・東條英機ら28名が訴追された。一方、国の内外から問われ、重要な争点となった天皇の戦争
責任については、世界が東西両陣営に分かれつつあるなか米国政府の強い意志により回避の方向へと導かれていく。
同年5月3日より東京裁判は開廷。まずは「平和に対する罪」など55項目に及ぶ罪状が読み上げられるが、被告は全
員無罪を主張した。検察側は日本軍の非道の数々を告発。弁護側は「戦争は国家の行為であり、個人責任は問えない」と異議申し立てするが、「個人を罰しなければ、国際犯罪を実効的に阻止できない」と、裁判所はこれを却下した。
1948年11月12日、病死した被告などをのぞく25名のうち東條ら7名に絞首刑、他18名は終身禁固刑もしくは有期
刑が宣告が下された。

監督：小林正樹 音楽：武満徹 ナレーター：佐藤慶 企画・製作：講談社 配給：太秦

© 講談社 2018 1983 | 日本 | モノクロ | DCP | 5.0ch | 277分 | 公式HP：www.tokyosaiban2019.com Twitter：@tokyosaiban2019

願いを込めて再び劇場公開！ユーロライブほか全国順次公開！【太秦&ユーロスペース 共同開催】

7月5日(火)～10日(日)

東京都写真美術館ホール

TEL: 03-3280-0099(代表)
https://www.topmuseum.jp/

JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分、
地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
恵比寿ガーデンプレイス内

8月11日(木・祝)特別上映

渋谷駅下車、Bunkamura前交差点左折

ユーロライブ
EuroLive

東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F
www.eurospace.co.jp

座席指定はユーロスペースのHPで、チケットの販売はユーロスペース劇場窓口でおこないます



8月15日(月)特別上映

地下鉄東銀座駅・6番出口下車

東劇

03-3541-2711

https://www.smt-cinema.com/
site/togeki/index.html

劇場窓口でお買い求め頂くと、
特製オリジナルポストカード
プレゼント！(一部劇場では取扱いがございません)



特別鑑賞券2,000円(税込)
絶賛発売中！(当日一般2,500円/席)